

大運動 「集中期間」

ごとうみき奮戦記〈中〉

支部とともに私も目標をもって

支部の活性化

7中総の討議を通じて、みんなが増やせる支部になりたいと援助しています。

「全党員が毎週宣伝紙を1部使おう」との地区の提起もあり、中支部では9月から150部の宣伝紙を活用しています。

10月19日、支部長宅で開いた集いでは、事前に近所にチラシを配布。歩いてこれる範囲の支持者や元読者に宣伝紙を渡しながらか集いの案内をしました。「集いは難しいけど、署名なら」と新入党員の住む新しい住宅地では、約100件に消費税署名を事前配布し、後日訪問対話。ベテラン党員は、参議院選挙で支持を訴えた元職場仲間に個別に野党連合政権の話をするなど、それぞれの党員が自分のやり方で宣伝紙を活用しています。

また、日進東支部では、スマートインター建設地の近所を全戸訪問、聞き取った内容で9月議会に質問し、10月6日に議会報告会を開催。参加党員4人に対し、近所の方18名が参加。反対運動をやっているとうと相談。その中であらためて入党を呼びかける対象者も生まれています。ここでも、議会報告会の案内とあわせて宣伝紙を持って地域を訪問しています。

「なんだったらできるかな」とみんなが足を踏み出せるような議論と励ましを支部会議ですすめてきました。9月に孫つながりで増やした若い読者に集金に行くと「1週間待ち遠しいです」と言って貰えうれしかった、と党員の喜びもみんなて共有してい

ます。また、8月に入党してくれた方が娘さんに日曜版を増やしてくれました。「お母さん、最近明るくなったね。新聞も楽しみにしているよ。配達してくれる方が野菜を持ってきてくれたり、声かけてくれるのもうれしいよ」と。支部では今度は娘さんにも入党呼びかけたいね、と相談が始まりました。

集中期間の目標

集中期間では、必ず党員を増やしたい、と私自身2人を党員に迎えることを目標にしました。

この間、3人の方に入党を呼びかけ、1人が入党決意、2人が日刊紙を購読してくれています。あと1人、5日までにがんばります。日進中支部と相談し、10月25日、11月5日に「つどい」を決めました。

5日の集いは、80代のベテラン党員の予定にあわせて設定。日刊紙読者や選挙で協力してくれた方などを誘って、ベテラン党員の話も聞きながら入党の訴えをしたいと考えています。

25日は会場となる党員宅の近所の方や地域の読者を誘っています。地方選挙時に始めて党のポスターを張り出した党員で「ポスターを張って共産党の看板を掲げたから気軽に誘える。地域の要求も出し合いたい」とチラシもつくり近所を訪問。裏の人からは「共産党の支持者でなくてもいけるなら友達も誘っていくね」と返事をもらっています。どんどんつながりをつくっていききたいです。



台風19号災害救済募金に立つごとう市議



街角トークのあと、日刊紙をすすめるごとう市議